

創価大学との高大連携授業を行いました！

本校では、3学期の数学Bにおいて創価大学と連携し、「統計的な推測」を題材とした探究的な学びを行いました。

● 初回授業

学習内容の復習を行い、今学期の学習の見通しを共有した後、発表に向けたテーマを班ごとに話し合いました。

● 2回目の授業

班ごとに、前回決めたテーマに基づき、検証したい仮説やアンケート項目を検討しました。大学生スタッフの方たちが適宜助言してくださいました。



● 3回目の授業の様子

学期末の発表準備を進めるとともに、創価大学服部南見先生から心理統計に関するご講義いただきました。その場で生徒全員がアンケートに回答し、集計から分析までのプロセスを実演していただくことで、大学での学びに対する理解を深めました。



● 4回目の授業の様子

学期末の発表に向けて資料作成を行いました。パワーポイ



ントの操作方法なども含め、大学生スタッフの方たちが支援してくださいました。

● 発表の様子

定期考査期間を利用して、各班が成果を発表しました。今まで関わって下さった大学生スタッフの方たちから、統計調査そのものに関する質問も飛び交い、質の高まりがみられました。



◇ 授業担当者コメント

他者と共同して活動する経験が十分でなかった生徒も、この連携授業を通して積極的にグループ活動へ参加する姿が見られました。年齢の近い大学生スタッフの方たちの姿は、生徒にとって進路や将来を考える上でも大きな刺激となったようです。

生徒が自主的に発表原稿の確認に訪れたり、仮説と結論のずれについて自ら考察したりするなど、主体的な学びが随所に見られました。一部の班については、大学で行っている授業改善に近い考え方をしているというご講評を、創価大学の先生から頂くことができました。ご支援くださった創価大学の方たちに心より感謝申し上げます。